

## 4. 問い合わせ件数

	漁協・水産団体等	漁業者・水産業者	官公庁	学校等	マスコミ等	一般企業	一般県民	その他	合計
漁場・環境			4		4	1	1	2	12
魚・水生生物	4	2	1	1	12	6	2	4	32
漁業		1	3		2		1		7
利用加工	2		11	1	1	11		1	27
栽培・養殖			2		1	2		2	7
安全・安心	2		4	1		7		3	17
漁業被害	1		2		1			1	5
珍魚・特異現象	3		10		1			5	19
その他			1	3	1	3	1		9
合計	12	3	38	6	23	30	5	18	135

## 5. 発表業績

### (1) 学術誌等での発表

#### ○学術誌・報告書

捨て網部分を大目化した大型クラゲ対策垣網：村山達朗・福井克也・平井ともか（ニチモウ株）・井上喜洋（鹿児島大学）、平成18年度水産工学関係研究開発推進特別部会漁業技術シンポジウム報告書、53-60（2007）

大正末期から昭和初期に行われた大橋川拡幅以前の宍道湖の塩分：平塚淳一（島根野生生物研究会）・山室真澄（産業技術総合研究所）・森脇晋平・石飛 裕（島根県保健科学研究所）、水環境学会誌、29（9）、541-546.

大橋川を遡上する貧酸素水塊の実情と宍道湖に及ぼす影響：藤井智康（奈良教育大学）・森脇晋平・奥田節夫（奥田水圏環境研究所）、LAGUNA（汽水域研究）13、1-7.

汽水域中海におけるオゴノリおよびスジアオノリ葉上のヨコエビ相：山内健生（広島大学）・有山啓之（大阪府立水産試験場）・向井哲也・山内杏子（愛媛女子短期大学）、陸水学雑誌、67、223-229.

#### ○シンポジウム発表

Monster Jellyfish Excluder Trawl Net Frames : Yoshihiro Inoue, Tatsuro Murayama and Akira Okino, ICES 2006, Fishing Technology in the 21st Century, 30 October - 3 November 2006, Boston, Massachusetts, U.S.A.

Development of a trawl net with jellyfish excluding mechanism : Tatsuo Murayama, Akira Okino and Yoshihiro Inoue, International Jellyfish Workshop 2006, 21-22 October 2006, Yokohama, Japan

#### ○その他

書評：「里海モク採り物語-50年前の水面下の世界」生物研究社（2006）水産海洋研究、70（4）、285。（森脇晋平）